

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 農地の利用集積は概ね進んでいるが、さらに地域の中心となる経営体（担い手）への集積を図っている。
- 高齢化等により農業従事者は減少しているため、農業後継者や新規就農者の定着・育成を図る。

【支援内容・背景】

- 高齢化等による個人農業者の離農者増加に伴い、農地の受け手となる中心経営体の経営発展に向けた支援を強力に推進する必要。
- 助成対象者は水田作を営む法人。今後、さらに経営面積を拡大することとしており、大規模化による効率的経営のモデルとして積極的に支援していく。



助成対象者「(株)吉見農耕社」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成17年 経営改善計画の認定
- 平成26年 法人化(株式会社)

《事業活用の背景》

- 経営規模の拡大のためには、農作業の更なる効率化が必要。
- 作付面積の拡大に向け、耕起作業・均平作業の効率化に資する大型トラクターを導入。

【事業実施時の状況】
〈R1年度〉

- 製品売上高 18百万円
- 経営面積 59.2ha

《事業による整備内容》

- トラクター 101ps 1台及びインプルメント
事業費 8,246千円
(国費 2,248千円)



【現在の経営状況】
〈R5年度〉

- 製品売上高 20百万円 (111%)
- 経営面積 65.7ha (111%)

事業の
効果

《対象者》 作業の効率化により経営面積の拡大が実現し、売上高の増加が実現。
《地区》 中心経営体の経営発展により農地集積が加速するとともに、法人化・大規模化のモデルが確立。